

## 【特別講演会】

医療データベースの新薬モニタリングへの応用:

米国のWeb を介したリアルタイムモニタリングの紹介

—— Harvard 大学(i3 Drug Safety 兼務)Arnold Chan 教授による講演と  
i3 Aperio のデモンストレーション ——

日時 2008 年11 月12 日(水) 午後1 時30 分から4 時30 分

会場 東京大学医学部鉄門記念講堂 東京大学本郷キャンパス 医学部教育研究棟14 階

講師 K. Arnold Chan, MD, ScD

(ハーバード大学公衆衛生学部教授、i3 drug safety, Chief Scientist)

## 【報告】

特別講演会「医療データベースの新薬モニタリングへの応用:米国の Web を介したリアルモニタリングの紹介—Harvard 大学(i3 Drug Safety 兼務)Arnold Chan 教授による講演と i3 Aperio のデモンストレーション—」は、2008 年 11 月 12 日(水)13:30~16:30 に東京大学医学部鉄門記念講堂において逐次通訳付で開催され、厚生労働省 4 名、医薬品機構 6 名、企業 76 名、大学・アカデミア・医療機関 20 名、その他 2 名、合計 108 名が参加した。リアルタイムで医薬品と有害事象との関係に関する評価が可能なシステムは、自発報告(および自発報告に基づくシグナル検出)と本格的な薬剤疫学的研究の中間に位置する、シグナルの強化・検証のための強力なツールとして働く、FDA 再生法にもとづく新時代のこれまでにないシステムとして、参加者に驚きと感銘をもって受け止められた。